

宮城県知事 村井 嘉浩様

要望者代表 加美郡の風力発電を考えるネットワーク

要望書

加美町 二つ石ダム周辺を鳥獣保護区に指定してください

宮城県加美郡加美町の二つ石ダムと周辺地域また、同加美町旭地区などにおいて、令和5年1月～3月にガン類、白鳥の渡り鳥市民調査、クマタカなどの猛禽類市民調査を実施した結果、同地域において、環境省第4次レッドリストにおける絶滅危惧IA類のシジュウカラガンを含む多数のガン類の飛来、採餌をしていること、北帰行の際には、二つ石ダムがガン類・白鳥の重要な中継地となっていることが、確認されました。また、環境省第4次レッドリストにおける絶滅危惧IB類のクマタカの生息も複数確認されました。

同地域は、宮城県のガンカモ類生息調査の調査箇所となっていないことから、渡り鳥の飛来状況については、今回の市民調査によって初めて明らかになりました。

また同地域は鳥類だけでなく、奥羽山脈の豊かな森林が広がる野生動物の楽園として、希少な動植物も多数生息しています。

絶滅危惧種や貴重な自然生態系保護のため、二つ石ダム周辺地域を、宮城県により鳥獣保護区に指定していただくよう要望いたします。

要望者一覧 別紙の通り

添付資料 令和5年2月～3月二つ石ダム・加美町旭地区でのガン類・白鳥調査報告書

令和5年2月～3月二つ石ダム周辺地域での猛禽類調査報告書

町民調査の結果概要

1. 二つ石ダム・加美町旭地区でのガン類・白鳥調査

(1) ガン類について

調査実施期間 令和5年1月～3月
調査実施場所 二つ石ダム・加美町旭地区

・今シーズン、加美郡住民による羽数調査により、加美町の水田が、多数のガン類の採食地であることが明らかになった。

特に、絶滅危惧種シジュウカラガンの群れも加美町旭地区内の水田で確認された。

・今シーズンの渡りのピークと思われる2月23日～27日に飛行ルート調査を行った結果、風車計画地を越えて渡るガン類が多いことを確認した。

その中には、シジュウカラガンの群れも多数含まれていた。

(2) 白鳥について

調査実施期間 令和5年1月～3月
調査実施場所 二つ石ダム・加美町旭地区

・猪股哲夫氏（元宮城県自然保護委員、元文化財保護委員など）の調査によれば、古くから、加美町を通過して奥羽山脈を越える「白鳥の道」が存在すると言われていた。

・今シーズン、その「白鳥の道」の途中でもあり、風車計画地に近接する二つ石ダムにて、白鳥の大群2千羽以上が確認された。

・3月2日、県の一斉調査での県内500か所における白鳥総数は944羽だったが、県の調査地に入っていない二つ石ダムでは、1100羽の白鳥が確認された。

・2月下旬より約10日間行われた二つ石ダムでの白鳥飛行ルート調査では、多数の白鳥が風車計画地の方向へ飛ぶことが確認された。

2. 二つ石ダム周辺地域での猛禽類調査

調査実施期間 令和5年2月～3月
調査実施場所 二つ石ダム周辺

・限られた調査日数の間に複数個体を確認した。宮城県猛禽類生息状況調査でも(<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sizenhogo/moukintyousa.html>)、二つ石ダム周辺では、クマタカの繁殖情報が連続した地域で得られていることから、鳥獣保護区に指定し、保全措置を講ずる必要がある。

3. その他

調査実施期間 令和5年3月17日
調査実施場所 二つ石ダム

・宮城県準絶滅危惧種（NT）指定のヤマアカガエルの繁殖活動が観察されました。